



QRコードを読み取り、避難場所や、川の水位を確認しましょう。

明石市の避難場所を確認するには。

瀬戸川の水位を確認するには。



積乱雲の発達

「大気の状態が不安定」なとき(上空に冷たい空気、地上に温かい空気の層があるとき)に発生します。

積乱雲が近づくサイン



真っ黒い雲が近づいてくる 急に冷たい風が吹いてくる 雷の音が聞こえてくる

まもなく、激しい雨と雷がやってきます。河川や低い場所からすぐに離れましょう。

前線の停滞、台風の接近

日本付近では6月頃に梅雨前線、9月頃に秋雨前線が停滞します。また台風は、進行方向に向かって右側が特に危険といわれています。



線状降水帯

線状降水帯とは、積乱雲が次々と発生し、帯状に連なることで、同じ場所に長い時間大雨を降らせる現象です。集中豪雨により、大きな災害に結びつくことがあります。



線状降水帯を作る原因となる。

【洪水浸水想定区域】

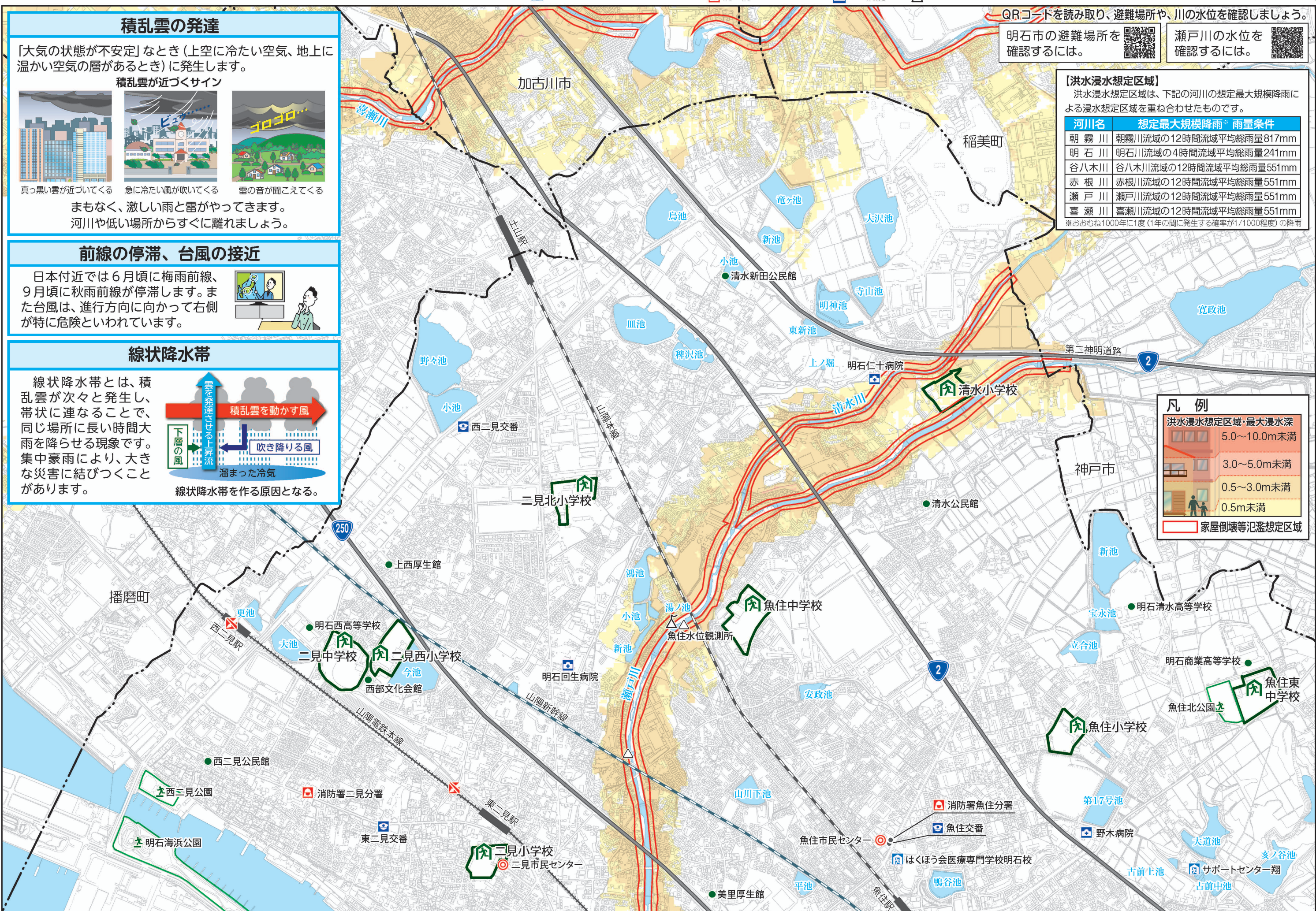
洪水浸水想定区域は、下記の河川の想定最大規模降雨による浸水想定区域を重ね合わせたものです。

河川名	想定最大規模降雨*雨量条件
朝霧川	朝霧川流域の12時間流域平均総雨量817mm
明石川	明石川流域の4時間流域平均総雨量241mm
谷八木川	谷八木川流域の12時間流域平均総雨量551mm
赤根川	赤根川流域の12時間流域平均総雨量551mm
瀬戸川	瀬戸川流域の12時間流域平均総雨量551mm
喜瀬川	喜瀬川流域の12時間流域平均総雨量551mm

*おおむね1000年に1度(1年の間に発生する確率が1/1000程度)の降雨

凡例

洪水浸水想定区域・最大浸水深	浸水深
	5.0~10.0m未満
	3.0~5.0m未満
	0.5~3.0m未満
	0.5m未満
	家屋倒壊等氾濫想定区域



1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波

1 災害への備え

2 風水害

3 地震・津波